

いざという時のために！

～防災訓練の実施～



▶各調査班から、危険箇所を白図に示す職員

8月8日(火)、役場で、台風による豪雨災害の恐れという想定で防災訓練を実施しました。今年職員になり、訓練に初参加した職員からは「実際に起きた時に、迅速に動けるよう本番と同じ気持ちで臨みました。」などの感想が聞かれました。

近年これまでに経験したことのないような豪雨が多々発生しております。日ごろからの心構えや備えなどを怠らず、実際に災害が発生した時に迅速に行動できるように、努めてまいります。

全ての力を出し切り優勝！

～最後まであきらめない！～



▶見事優勝したクラッチのメンバー

7月2日(日)、9日(日)と2日間にわたり藤代スポーツセンター野球場および常総運動公園野球場にて、第36回取手市・守谷市・利根町野球大会が開催されました。12チームが参加し、熱戦が繰り広げられるなか、決勝戦は利根町同士の戦いとなり接戦の末、3対1で見事クラッチ(利根町)が優勝しました。

町の話題

その①



利根町の夜空に
咲き乱れる
色とりどりの花火！

9月1日は霞ヶ浦の日

～今年で制定35周年～



▶草をかき分け、ゴミ拾いをする参加者の方々

霞ヶ浦清掃大作戦は、霞ヶ浦に流入する河川流域の市町村が一体となり霞ヶ浦の浄化を推進していこうという運動です。

7月30日(日)に、新利根川沿いの8地区(羽根野・上曾根・押付新田・押付本田・上曾根・下井・立木・立崎・惣新田)の住民の皆さまにご協力いただき、実施されました。

身近な新利根川を綺麗にすることが、霞ヶ浦の浄化に繋がります。美しい自然環境を守るために、これからもご協力お願いいたします。

広島平和記念式典派遣の結団式の開催

～核兵器のない世界へ～



▶記念式典に出席された方々

7月27日(木)、役場町長公室において、8月6日(日)に広島市で行われる平和記念式典に利根町代表として中学生(6名)を派遣するための結団式が行われました。

当日は、佐々木町長、杉山教育長、関係者および保護者の方々が出席のもと利根中学校代表生徒が「利根町の代表としての自覚と責任をもち、規律ある行動と互いに学び合い高め合えるよう、本事業に精一杯取り組んで参ります。」と決意の言葉と共に、核兵器廃絶や恒久平和を誓いました。

健康教室

～サプリの落とし穴～

腎臓病の栄養問題に取り組んで、ひとつ気づいたことがあります。それは「食べれば食べるほど身体に良い食品はない」ということです。サプリ(メント)(supplement)は本来、身体に足りない栄養を補います。鉄欠乏(貧血)やカルシウム欠乏(骨粗鬆症)に対し、鉄やカルシウムの薬を内服することは理に適っています。しかし過剰となれば逆に有害な作用を引き起こすことがあります。

例えばカルシウムを取り過ぎると便秘や痒みの原因となり、最悪の場合、昏睡状態に陥ります。そしてある栄養素が「足りない」のか「足りている」のか、適格に判断することは容易ではありません。

生命は柔軟に環境に適応します。足りなければそれなりに、身体の代謝を変化させ、苦境を乗り切り生き延びようとする。しかしその柔軟さも急激な近代化の流れには追いつけなかったようです。飢餓を克服するための無駄のない代謝経路は、食料が十分に確保されると糖尿病や肥満の原因となりました。脱水症を避けるため、体内に水や電解質を温存するホルモンは、現代人に

とって浮腫を助長し血圧を上げる悪玉に変貌しました。はからずもこの悪玉ホルモンを抑える成分が、血圧を下げる薬として使われています。

食べ物で満ち足りた生活では、何かを加えることより減らすの方が有益です。しかし捨てるのが難しいように、制限することはなかなか受け入れられません。食べなければ資源だけでなく食費も節約できるのですが、食べた上でさらに脂肪を燃やす(?)お茶を買い足します。そこにはすでに巨大なマーケットが形成されています。

ほぼ半世紀前の1960年代、ミニマリズム(minimalism)という考えが勃興しました。芸術領域を端緒として余計なものを省き、自らの尺度をよりどころに必須なものを絞り込んでいく生き方です。昨年来、流行語となった断捨離も同根の発想です。単なる粗食ではない、ミニマリスティックな食生活を享受すること、サプリを購入する前に少しばかり考えてみませんか。



取手市医師会
☎0297(78)6111

第40回記念 利根町民納涼 花火大会開催!!



利根町の夏の風物詩「利根町民納涼花火大会」が、今年も開催されました。当日は、あいにくの天気ではありましたが、利根町の一大イベントの一つということもあり、たくさんの方が来場されました。

会場内では、利根地固め唄やフリフリグッパなど披露され、よしもと茨城県住みます芸人として活躍中のお笑いコンビ「オスベンギン」によるトークショーや写真撮影なども盛り上がりを見せ、会場は笑いの渦に包まれました。

また、今年のゆるキャラ®グランプリにエントリー中の我が「とねりん」の可愛い盆踊りソング「とねりん音頭」も初披露され、来場された方々と一緒に踊りました。同時開催の「ゆかたde撮影会」も浴衣を着た皆さんの方にお越しいただき、見事大成功を収めました。

さらに、メインである花火は、打ち上げ時刻が早まるも、第40回記念ということで、例年と比べ打ち上がる数も多く、老若男女多くの方々が、傘を差しながらも夜空を見上げ、色とりどりの花火を楽しんでいました。